

住民自治協議会だより

第30号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

令和3年度 小田切地区住民自治協議会事業計画 総会は中止

新型コロナウイルス感染症拡大継続に伴い、4月16日予定の総会は昨年に続き取り止め、住自協会則に基づき役員会が代行承認しました。

住自協全体

- ・地域間交流事業の実施
- ・「みどりのテーブル」の開催
- ・乗合タクシーの利用促進、停留所の増設
- ・「寄って家'S」を通した住民の交流促進
- ・家事援助支え合い事業の推進
- ・男の社交場支援
- ・地域たすけあい事業再編の対応
- ・長野翔和学園との協働事業
- ・住自協だより発行

総務・安全防災部会

- ・防災機器の維持管理
- ・各区自主防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業の実施
- ・期日前投票の支援事業
- ・「地域輸送運行委員会」の廃止

福祉・健康部会

- ・「第3次小田切地区福祉活動計画」の策定
- ・福祉委員会の各種事業や区健康保健活動の推進
高齢者の集い、喜寿祝賀会、サロン事業など
- ・福祉大会の開催
- ・福祉委員会や保健補導員の視察研修
- ・老人クラブ・交流センター協働の健康講座

環境・地域活性化部会

- ・環境整備、美化活動推進やゴミ集積所整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・夏祭りの開催
- ・観光推進事業や観光スポットの整備
- ・小田切八景記念事業
- ・地区内写真集の編集

教育・文化部会

- ・交流センター、地公連連携の各種行事推進
- ・青少年子ども育成活動と次世代育成事業
- ・人権啓発活動推進や社明運動など住民集会の開催

支所長あいさつ

小田切支所長 山岸 健二



4月1日付の人事異動により、小田切支所長に着任いたしました。支所勤務は初めてであり、初めての小田切です。住民自治協議会の皆様におかれましては「小田切を元気に！」を合言葉に、様々な地域づくり活動を実施されていると伺っております。

私も小田切地区の活性化に寄与するため、至らない点も数多くあるかと思いますが、一日も早く皆様方から信頼していただけるよう頑張る所存です。

昨年来のコロナ禍で多くの事業や行事が中止となり、地域の皆様と直接触れ合うことも難しい状況にあります。よろしくお願いいたします。

人事異動

●小田切支所

転入 — 支所長（文化芸術課長） 山岸 健二
係長（生活支援課係長） 西山 秀一
転出 — 広報広聴課長（支所長） 小林 弘明
豊野支所（主査） 大井 信也

●西部保健センター／小田切担当保健師

新任 — 佐藤 彩
退任 — 澤柳 綾美（真島保健センターへ）

●小田切交流センター

新任 — 所長 広川 芳守（前清野小学校長）
退任 — 所長 安原 哲夫
（柳原交流センター所長へ）

●ふれあい交流ひろば

新任 — 金井 信之（栃ノ木）
退任 — 山口 豊（湯山）

令和3年度 一般会計収支予算

<収入>

公的補助金	交付金	5,673,000
	補助金等	1,640,000
負担金	各区負担金等	121,000
雑収入	寄付金等	71,289
繰越金	前年度繰越	2,864,711
収入合計		10,370,000円

※前年度はコロナ対応で多くの事業計画が繰越しとなったため、3年度特別処置として、各区負担金を削減しました。

<支出>

事業費	総務・安全防災部会	822,000
	福祉・健康部会	2,624,000
	環境・地域活性化部会	1,167,000
	教育・文化部会	1,028,000
運営費	事務局費	4,118,000
配分・委託費	各区配分、団体補助等	380,000
繰出金	福祉自動車	120,000
予備費		111,000
支出合計		10,370,000円



代行審議の役員会



3年度役員

市議会の視察「小田切地区のデマンド交通について」意見交換

市議会「まちづくり・公共交通対策調査研究特別委員会」の議員7名は、2月18日に住自協を視察。住自協から中山間地域輸送システムの小田切地区再編経過や「新かつら号」の運行状況など説明しました。

議員からは、住自協が担当して配車や運行ルート調整など苦心している所、ジャンボタクシーの必要性、乗降はバス停と同じ考えてドアツードアではない、路線バス乗り継ぎ停留所の待合所の現状や人口減少に伴う今後の地区のあり方など意見交換しました。



喜寿祝賀会 昨年に続き中止 下期も事業計画の中止相次ぐ

3月3日に計画していた喜寿祝賀会は、新型コロナウイルス感染症が終息に至らず、昨年に続き中止しました。対象者は令和2年度に喜寿を迎えた、昭和18年4月2日から19年4月1日生まれの21名の皆さんです。記念品として置き時計を贈りましたが、本来なら記念祝賀会にてお祝いすべきと準備を進めてきただけに残念です。

他にも下期事業計画の中止が相次ぎました。

- 住自協**
- 福祉大会（10月）
 - 各種正副団体長会（1月）
 - 喜寿祝賀会（3月）
 - 市住自協理事会（会長1名のみ出席）
 - 3年度住自協総会（4月）

- 交流センター**
- 球技大会（12月）
 - 11地区合同成人式（1月）※8月9日に延期
 - 囲碁将棋大会（2月）
 - 文化芸能祭（3月）※展示部門のみ開催

所長あいさつ

小田切交流センター所長 広川 芳守



4月1日付で小田切交流センターに所長として着任いたしました。交流センターは、2019年4月より、公民館から名称を変更いたしました。初めての職で分からないことが多いですが、よろしくお願いたします。また、住民自治協議会や区長会、各団体の皆様の連携が強い地域だと実感しています。ただ、新型コロナウイルス感染防止のため、思うように活動できないかもしれません。できることから始めたいと考えております。年度当初の予定では、エルダーフラワー講座、健康講座、千曲市散策などを考えています。いつでも気軽にどうぞ館ください。

有償家事援助 1年間の振り返り 協力会員との情報交換会

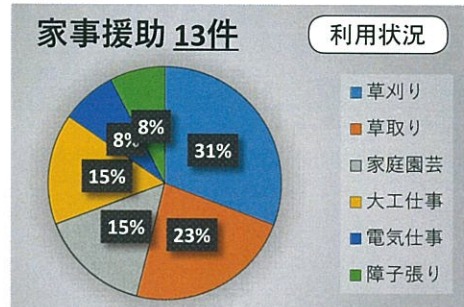
小田切地区独自の有償家事援助がスタートして1年が経過し、利用状況を振り返ると、登録協力会員は38名、利用会員は10名で依頼件数は13件ありました。なお、社協の家事援助は、草取りが3件（利用者1名）、雪かきが6件（利用者2名）でした。

3月3日には家事援助協力会員との情報交換会を行い19名が出席し、事務局から今年度の事業活動報告を行いました。協力会員からは、この活動報告のほかに近所から直接、耕運作業や支障木伐採など7件依頼されたと報告がありました。小田切地区の皆さんの近所付き合い、地域のつながりや支え合いを感じます。

協力員の感想や意見として、①支援作業をする中で高齢者との話し相手や見守りの要素も生まれる。②不得意分野の依頼もあがることができる範囲内で協力したい。③高所作業での複数人作業の必要性などあり、引き続き協力をお願いしました。

同時に、協力会員の皆さんに「和輪話の会」で話し合っている「地域たすけあい事業の再編」の取り組みについて、市地域包括ケア推進課より説明がありました。活動中の生活支援や居場所づくりに加え、移動支援として買い物やサロン等への外出時、マイカーによる運転ボランティアも組み入れます。

なお、福祉自動車は現行どおり運行します。



小田切独自「家事援助支えあい事業」のリニューアル ～住民同士の支えあい活動イメージ～

R3.3作成 地域包括ケア推進課

生活支援

◇ 家事支援

ゴミ捨て、片付け、掃除、買い物代行、調理 など



◇ その他

草取り、雪かき、電球交換、衣替え、話し相手(傾聴)、見守り など



◇ 運転ボランティア

通院 = 地区の福祉自動車
 買い物 = マイカー(自家用車)、地区の共用車
 社会参加 = マイカーや共用車で、通い・集いの場へ
 (サロン活動、体操、趣味活動への参加支援)



◇ 外出時の付き添い
 他) 相乗りタクシーの活用



移動支援

住み慣れた地域で、誰もが長く暮らし続けるために

お互いに支えあう まちづくり

通い・集い

◇ 誰かと会えて、元気になれる場所

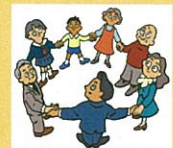
誰もが、好きな・やりたい活動で参加・交流できるよう、お互いに協力して、様々な「通い・集いの場」を作ろう。

- サロン活動、まちの縁側
- 体操・運動クラブ
- 趣味活動
- ボランティア活動
- 仕事・作業を通じた交流



居場所づくり

自分に「できる範囲」で、友人や、ご近所さん等の地域のつながりの中で、生活を支え合う小田切地区へ



支え合い活動にご参加ください

地域たすけあい事業の再編イメージ (市地域包括ケア推進課資料)

「男の社交場づくり」の検討

和輪話の会で「男の居場所づくり」について検討しています。自分が楽しくみんなと集まる場所、それを「男の社交場」としました。

まず今年は2団体で、「マレットゴルフ」と「山里整備」の集まりを検討しています。



小田切夏まつり

今年は8月14日(土)で計画



老人クラブ総会

年間を通じて新規会員加入促進活動

小田切老人クラブは、新型コロナウイルス感染症対応で4月23日の総会は、役員会で代行承認しました。なお、3月に市老連を脱退しました。



3年度役員

わらび狩り交流事業

昨年に引き続き取りやめ

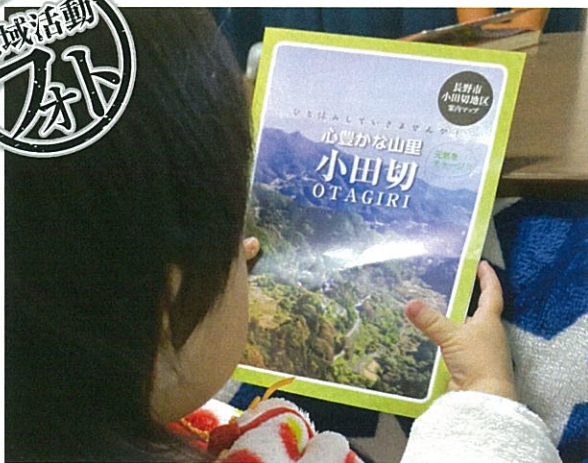
今年のわらび狩り交流事業は、新型コロナウイルス感染症が依然収まらず昨年に続き中止しました。長沼復興支援小田切プロジェクトは5月8日に長沼小学校の親子を招待する計画でした。三輪地区との地域間交流事業は5月15日に予定していました。

また、復興支援プロジェクトは枝豆栽培農場に堆肥など入れ、播種準備に入りました。



枝豆農場

「どこ 行こうかな」



酒井地域おこし協力隊 活動報告会 交流センター

2/17



第19回小田切文化芸能祭（展示部門のみ） 交流センター体育館



3/7~13

巡礼桜観桜会は中止 満開

4/6



やまびこ

今年の巡礼桜満開は4月6日。開花は1日で平年より2週間ほど早く、特に統計はないが最も早いようだ。平年とは過去30年間の平均値で、10年ごとに西暦末尾が1の年に更新するらしい。だとすると今年更新するのか調べると、どうも5月19日から新しい平年値となるようだ。

延期でオリンピック年となった今年、聖火リレーが4月1日長野市にきた。このところコロナ感染症がまた増えてきて、高齢者から始めると予防接種の通知はもらったが、どうなることか。